

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学ロサンゼルス校 現地言語： University of California, Los Angeles
留学期間	2022年6月～2022年9月
留学した時の学年	2年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	2年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月16日
明治大学卒業予定年	2025年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月中旬～12月上旬 2学期：1月上旬～3月下旬 3学期：3月下旬～6月中旬 4学期：(6月中旬～9月中旬) (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	47,518 (2021)
創立年	1919

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	6,514.00	870,635 円	登録料、オリエンテーション料など込み
宿舍費	4,929.01	654,862 円	週14回分のミールチケット込み
食費	0	0 円	
図書費	60.00	1 円	教科書代（電子版）
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	142.35	1 円	現地 SIM 3ヶ月分（電話、月10G）
現地交通費	50.00	1 円	空港・大学間の往復（Uber） (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	—	30,880 円	形態：東京海上日動 海外旅行保険
渡航旅費	—	213,540 円	JAL 直行便
ビザ申請費	—	65,039 円	SEVIS、送料込み
雑費	50.00	1 円	洗剤、洗濯代
その他		円	
その他		円	
合計	約 13,960.00	約 1,880,000 円	(お土産、観光、外食などは除く)

渡航関連

渡航経路			
往路	出発地：東京（羽田）	目的地：ロサンゼルス	経由地：－
復路	出発地：ロサンゼルス	目的地：東京（羽田）	経由地：－
渡航費用			
①往復チケットを購入した場合 航空会社：JAL 料金：¥213,540			
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：			
航空券購入方法			
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名： ） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：JAL 公式） <input type="checkbox"/> その他（ ）			
滞在形態関連			
1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）			
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：Rieber Hall） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ			
2) 部屋の形態			
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 3 人）			
3) 共有部分			
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン（ <input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可）			
4) 住居を探した方法：			
UCLA サマーセッションでは3つの寮（Rieber, Centennial, Saxon）から選ぶことができました。			
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）			
3つの寮の中で Rieber が一番安い寮なのですが、生活していく上で特に問題はありませんでした。真夏でも夜は涼しいのでエアコンがなくても快適に過ごせます。（日中は結構暑くなるので、自分の部屋で勉強したい人は Centennial や Saxon をおすすめします。私は図書館や他の寮の自習スペースなどを利用していました。）			
現地情報			
1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）			
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所：コロナ陽性→専用の寮で隔離）			
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）			
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等： ）			
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？			
渡航前にインターネットで治安の悪いエリアについて調べておくことをおすすめします。UCLA 周辺だと、Inglewood（イングルウッド）と Skid Row（スキッドロウ）の2ヶ所が危険だという情報があったため、そのエリアには立ち入らないように過ごしていました。また、日が沈んでから大学の敷地外に出る場合は必ず複数人で行くようにしていました。基本的に UCLA の周りは富裕層が住んでいるエリアなので犯罪は少ない方だと思います。			
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）			
キャンパスや寮などの大学の施設には Wi-Fi が完備されています。街のカフェや商業施設にも基本的にはフリーWi-Fiがあり、日本よりも快適です。ただ、移動中など Wi-Fi が拾えない時のために現地の SIM に差し替えることをおすすめします。私は現地の携帯会社で通話と月10Gのデータがセットになっている SIM を契約しました。渡航前に自分の携帯の SIM ロック設定を解除しておくともスムーズです。			
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）			
現金とクレジットカードを併用していました。現金をどの程度使うか予測できなかったため、足りなくなった場合現地でドルに替えられるように日本円も持って行きました。実際に現地で生活してみて、クレジットカードは基本どこでも使えるし、むしろクレジットオンリーのお店も多かったため、現金はあまり持たなくて良いかもしれません。カードによってはロックがかかってしまうものもあるみたいなので、異なるブランドの visa カードを2枚以上持っていくと安心だと思います。			

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
日本のスーパーもあるので基本ほとんどの物が現地で手に入ると思います。シャンプーや洗剤など、重たいものは現地で購入するようにしました。ただ物価が高いため、必要なものはできる限り日本から持って行った方が良いです。常備薬やコンタクトに関しては日本から持ってくと安心だと思います。
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
渡航前(4月末)にクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input checked="" type="checkbox"/> (まだ認定されていません) 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 特になし	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking (ESL 22)	パブリックスピーキング
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ペアワーク、グループディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 2 回
担当教授	Julie Norminton
授業内容	「人前で話す」ことをテーマに、アリストテレスの弁論術(ロゴス、エトス、パトス)やマーティンルーサーキングのスピーチ(I have a dream)などの例を交えながら講義が進められます。また、プレゼンテーションやディスカッションを通して、講義で学んだことを実践できます。
試験・課題など	6 週間を通して 3 回プレゼンテーションがあります。1 つ目は 1 枚の写真について説明するペアプレゼン、2 つ目は LA の観光スポットについて紹介する個人プレゼン、3 つ目は専門分野(専攻)に関するトピックの個人プレゼンです。プレゼン準備やリフレクションが主な課題になります。普段の出席率や提出物などが評価されるので試験はありません。
感想を自由記入	英語を第二言語として学ぶ生徒向けということもあり、9 人中 6 人が日本人でした。その中に MBA を取りに来ている社会人の方がいらっしまったため、授業外の時間にたくさんお話を伺うことができ、日本人同士の出会いも貴重だと実感しました。ESL の授業は基本的に日本人が多いので、気になる人は避けて履修した方が良いかもしれません。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leadership Principles and Practice (MGMT 182)	リーダーシップの原理と実践
科目設置学部・研究科	Management
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 170 分が 2 回
担当教授	John Ullmen

授業内容	リーダーシップについて様々な角度から理解を深める授業です。リーダーシップの基礎となる 3Rs (Results, Relationships, Reputation) を高めるための考え方を学びます。グループワークではそれぞれの実体験や価値観を共有するので、多様な視点に触れることができます。
試験・課題など	授業中のグループワークが評価されるため、試験はありません。教授が配信している LinkedIn learning のオンデマンド講義を試聴し、理解してくる課題がありました。任意でした。
感想を自由記入	試験や課題がないので現地生からの人気が高いようでした。試験や課題という重圧がなくても、授業中の時間から多くのことを学ぼうとするアメリカンなスタイルにとっても惹かれました。自分の意見を話す機会がたくさんあるため、スピーキング力を高めたい人におすすめです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Integrated Marketing Communications (COMM 148)	統合マーケティングコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 125 分が 2 回
担当教授	Celia Feramisco
授業内容	マーケティングミックスの 4P (Product, Price, Place, Promotion) の中の Promotion に特化した授業です。実際の企業の広告などを例にとって授業が進められます。事前に予習した教科書の内容を授業で深めていくスタイルです。
試験・課題など	仮想の商品やサービスを自分で決め、それに対するマーケティングコミュニケーションプランを word で作成します。出席率や課題の内容が評価されるため、試験はありません。
感想を自由記入	専門的かつ実践的な内容なので、マーケティングや広告に興味がある人にはピッタリの授業だと思います。個人の作業がメインなので、グループワークがしたい人は Entrepreneurship and New Product Development という授業が似た内容なのでおすすめです。友達が履修していました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Business Interpersonal Communication (MGMT 180)	ビジネス対人コミュニケーション
科目設置学部・研究科	Management
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義、グループワーク（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 170 分が 2 回
担当教授	John Ullmen
授業内容	社会人としての円滑なコミュニケーションの取り方を学びます。Simple（簡潔に、頭に残る）Unexpected（期待以上の、注目を集める）Concrete（明確な、具体的な）これらの 3 点を意識しながら話す練習をします。抽象的な内容が多いです。
試験・課題など	授業中のグループワークが評価されるため、試験はありません。教授が配信している LinkedIn learning のオンデマンド講義を試聴し、理解してくる課題がありました。任意でした。
感想を自由記入	試験や課題がないので現地生からの人気が高いようでした。試験や課題という重圧がなくても、授業中の時間から多くのことを学ぼうとするアメリカンなスタイルにとっても惹かれました。自分の意見を話す機会がたくさんあるため、スピーキング力を高めたい人におすすめです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	TOEIC 勉強
	4月～7月	TOEIC 勉強、TOEFL 勉強
	8月～9月	TOEIC 勉強、TOEFL 勉強
	10月～12月	海外トップユニバーシティ留学応募(助成金含む)
留学開始年	1月～3月	オンライン英会話、UCLA履修登録、VISA申請
	4月～7月	航空券購入、保険申し込み、ワクチン、寮申し込み、出発
	8月～9月	帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

留学の目的は、授業を受けて単位を取るだけでなく、観光含めてたくさんの異文化に触れることだと思っていたので、国際色に富んだカリフォルニア、ロサンゼルスを選びました。また、海外トップユニバーシティ留学の助成金受給により、留学費用が一部カバーされるということも留学先決定の大きな要因です。

実際に渡航してみて、予想以上に多くの国籍の学生と関わる事ができました。サマーセッション期間ということもあり、現地だけでなく世界各国から集まっていました。アジアだと、中国、韓国、香港、台湾、シンガポール、ヨーロッパはフランス、イタリア、ドイツ、スペイン、その他にもオーストラリアやレバノンから来ている学生がいました。アメリカだけでなく、世界の文化や価値観に触れることができたので、とても貴重な経験となりました。また、ノンネイティブの英語スキルの高さに圧倒され、今後の英語学習のモチベーションとなりました。

私は中学生の頃から英語が一番の苦手科目でした。初めて受けた TOEIC のスコアは 390 点です。それでも、留学したいという強い気持ちがあったので、身の丈に合わない挑戦だと分かりながらも、毎日英語に触れるようにしていました。大切なのは今の実力よりも今後どのくらい頑張れる気持ちがあるのかだと思います。今の自分の英語力に自信がない人も沢山いると思いますが、諦めないで挑戦して欲しいです。